

# 2022年3月期第3四半期 決算説明会

2022年1月31日

 **日立建機株式会社**

執行役 営業本部長

松井 英彦

執行役 財務本部長兼CFO

塩嶋 慶一郎

## 株主構成の変化と日立グループとの関係

日本産業パートナーズと伊藤忠商事が当社株式の26%を保有、当社を支援

日立ブランドは継続使用、社名も変更無し、各研究開発分野での連携を継続

経営戦略の柱をさらに強化、変化を加速させ、成長を確実なものに

お客さまとのあらゆる  
接点で深化した  
ソリューションを提供

日立グループ・ABBと連携し  
ネット・ゼロ・エミッションをめざす



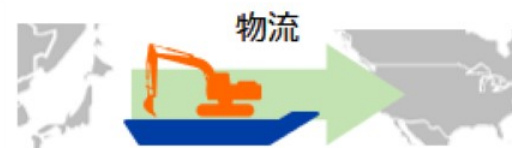
LUMADA

データ活用

ConSite  
Consolidated Solution for Construction Sites

バリューチェーン事業  
の強化

北米での物流やファイナンスで  
伊藤忠商事グループと連携



変化に強い  
企業体質の形成

日本産業パートナーズによる  
中長期的な経営基盤の強化

資産管理



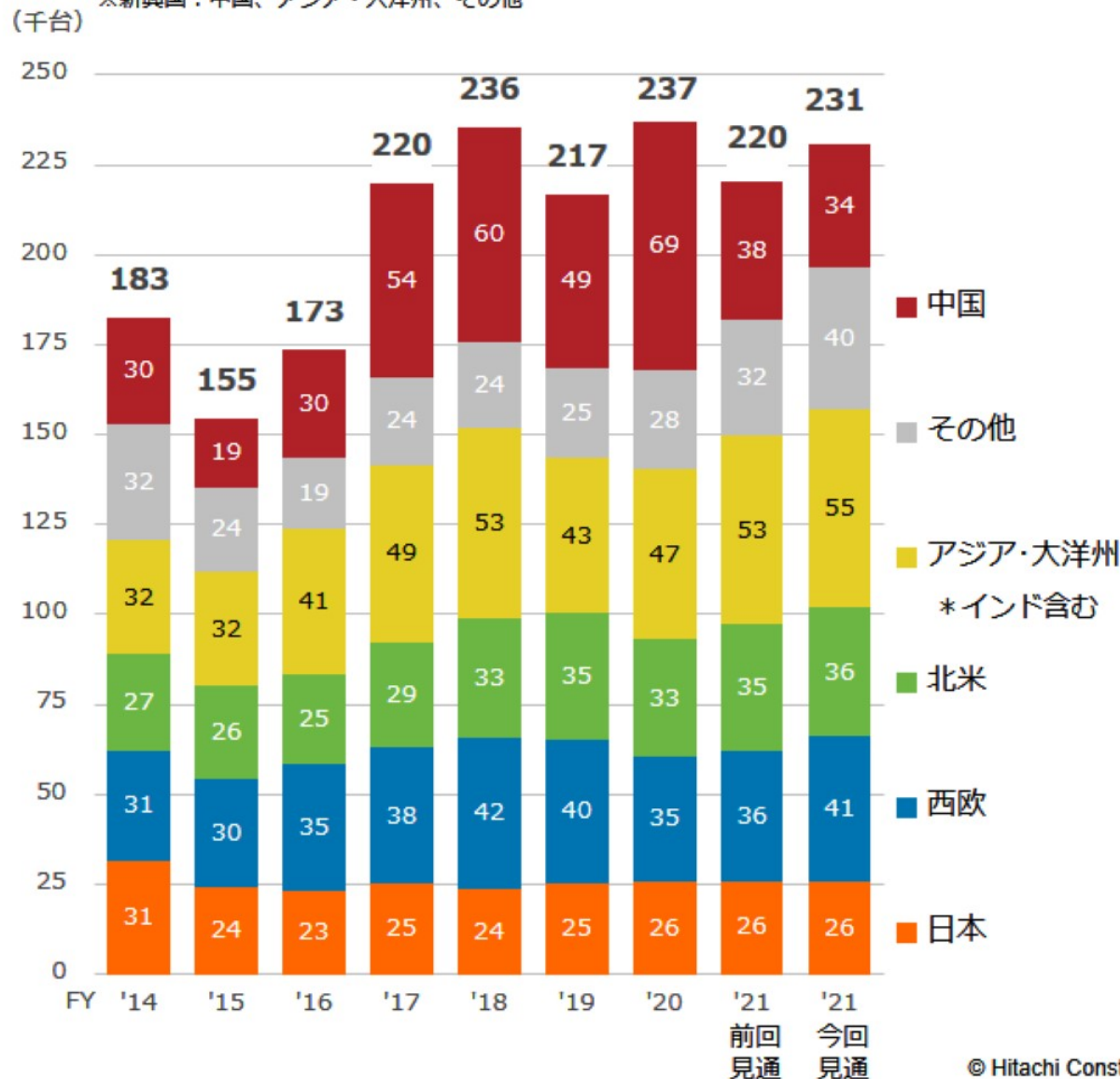
北中南米事業の再構築で、売上高1兆円以上、営業利益率を安定的に2桁へ

## 1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役 営業本部長  
松井 英彦

## 新興国比率：21年度 56%（前年比-5%）

※新興国：中国、アジア・大洋州、その他



## 地域別需要対前年増減

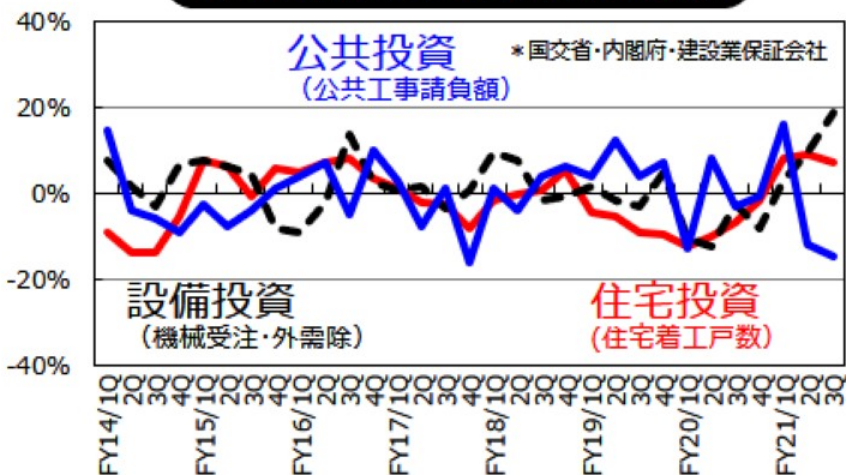
※当社推定 中国国産メーカ含まず  
※複写・転用はご遠慮下さい

	'20	'21
合計	+9%	-3%
中国	+42%	-50%
ロシア・CIS	-7%	+54%
東欧		
アフリカ	+10%	+45%
中東	+10%	+55%
中南米	+34%	+27%
その他	+11%	+43%
アジア	+12%	+24%
インド	+5%	+3%
オセアニア	+16%	+32%
アジア・大洋州	+9%	+16%
北米	-6%	+10%
西欧	-14%	+17%
日本	+3%	-2%

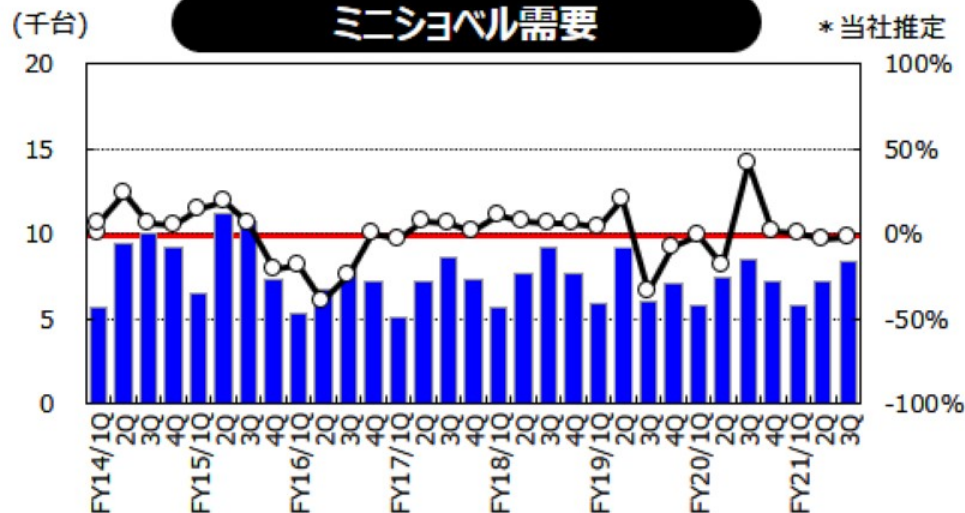


- 設備投資は引き続き増加、住宅投資も好調、公共投資は減少。
- 油圧需要は微減：前年同期比 油圧 -5%、ミニ -2%、WL +12%

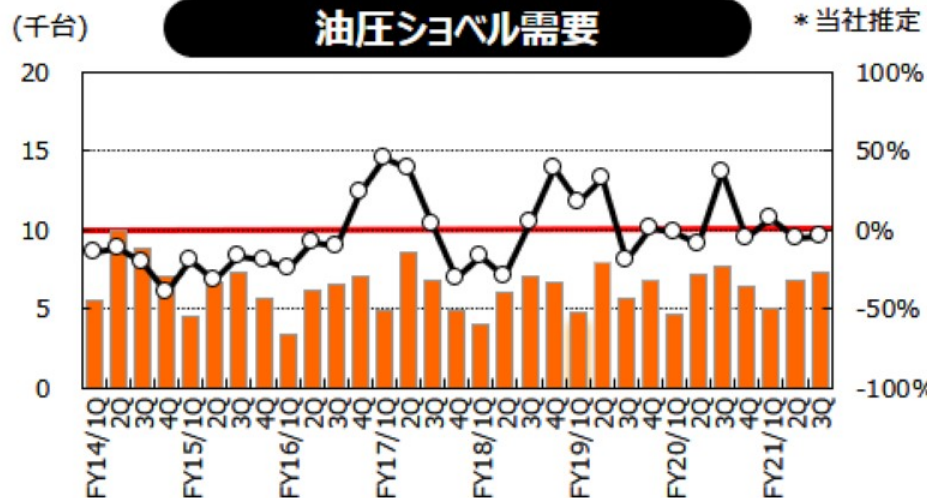
## 住宅・設備・公共投資 (前年同期比)



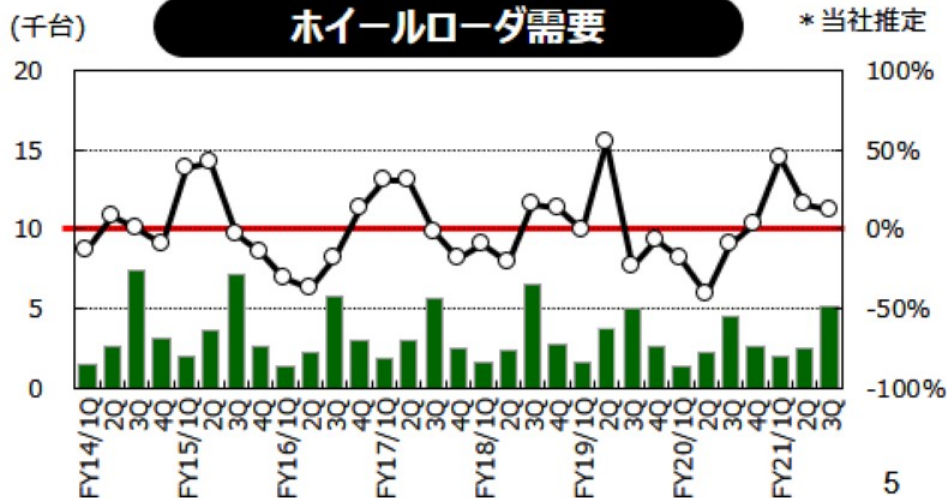
## ミニショベル需要



## 油圧ショベル需要



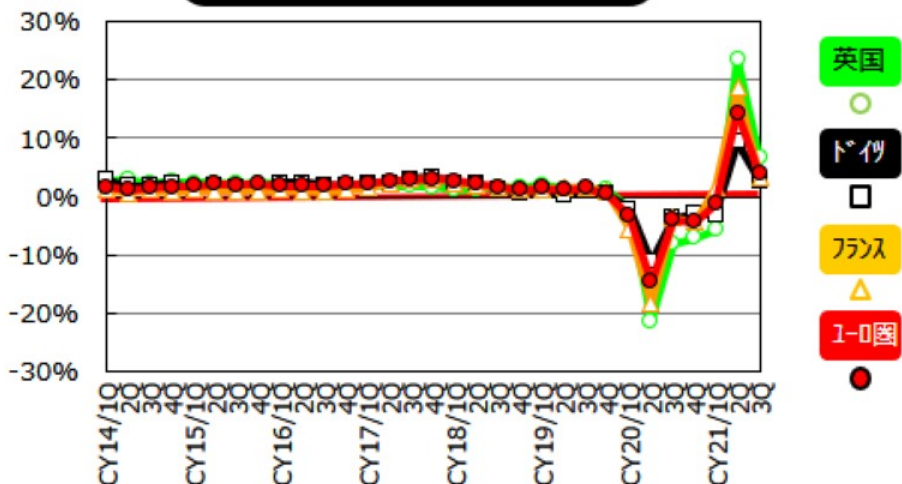
## ホイールローダ需要



- 21年3QのGDP成長率は全地域で微増。
- 油圧需要は増加：前年同期比 油圧 +6%、ミニ +10%、WL -8%

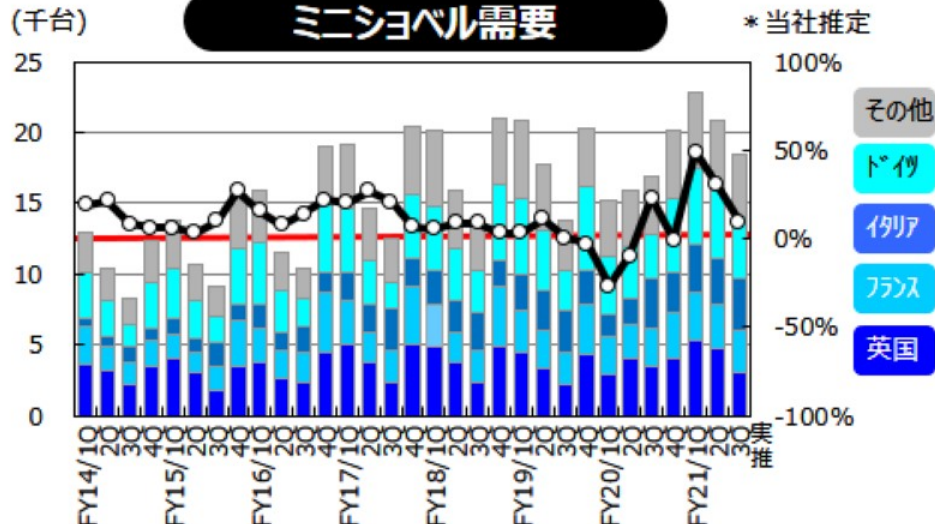
### 主要国GDP (前年同期比)

\* Source: Eurostat



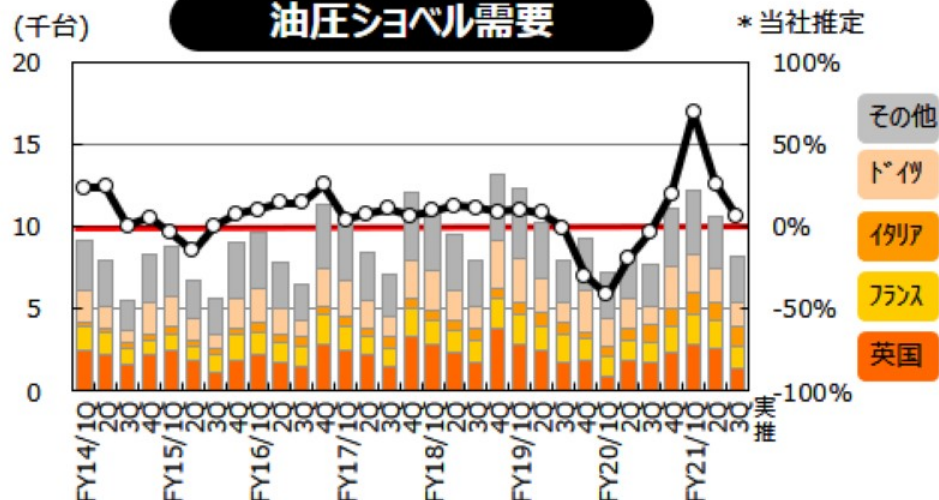
### ミニショベル需要

\* 当社推定



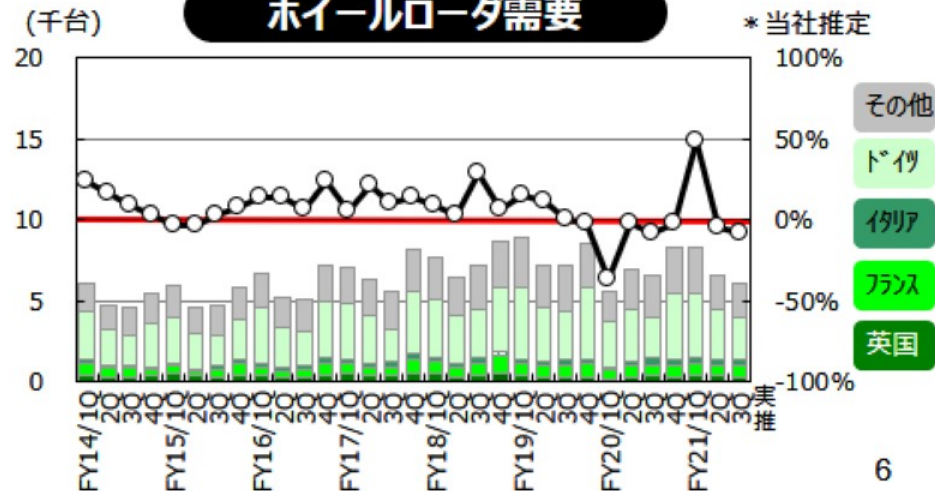
### 油圧ショベル需要

\* 当社推定



### ホイールローダ需要

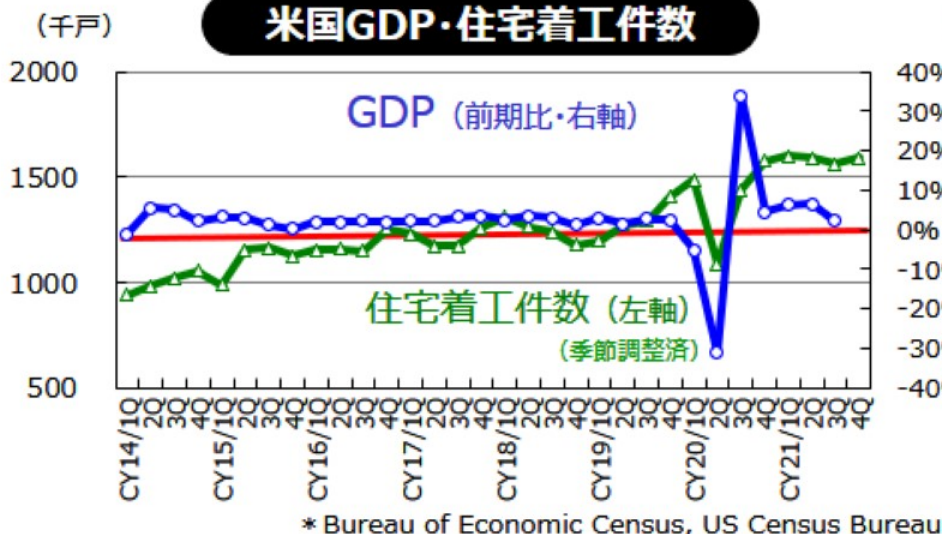
\* 当社推定



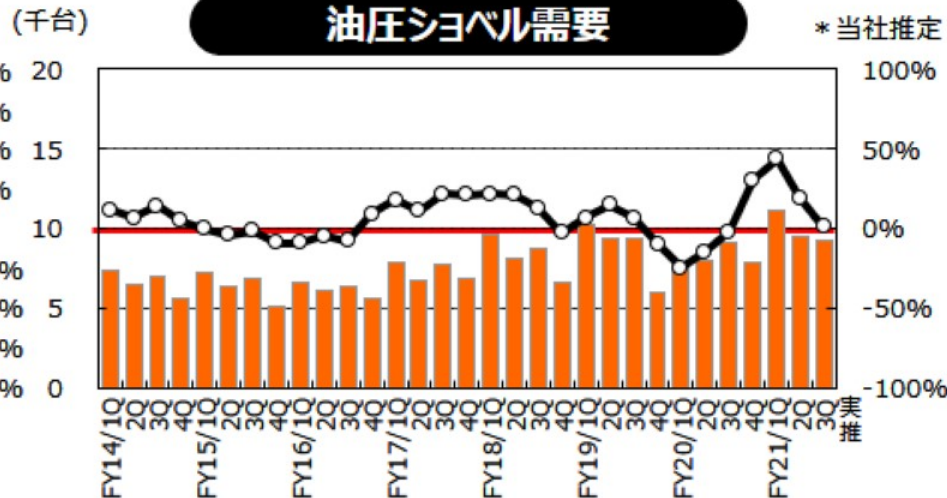


- 住宅市場は堅調。商業施設と公共工事は前年並み。
- 油圧需要は微増：前年同期比 油圧 +1%、ミニ +2%

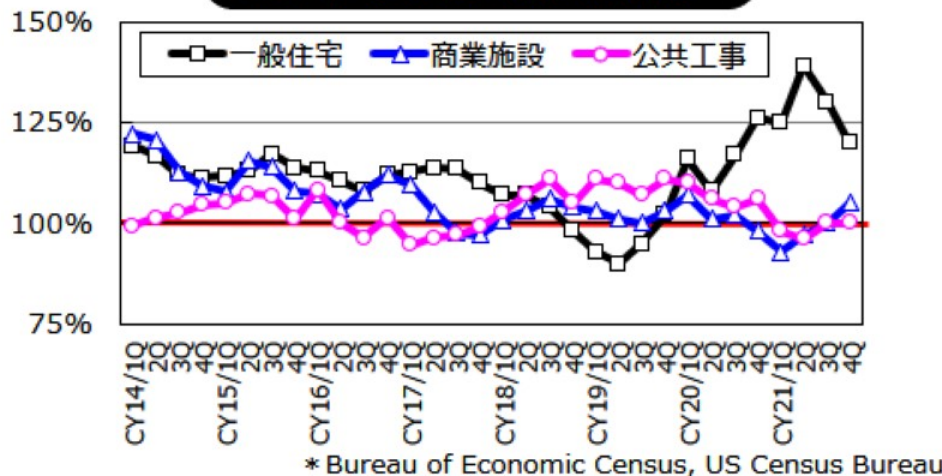
### 米国GDP・住宅着工件数



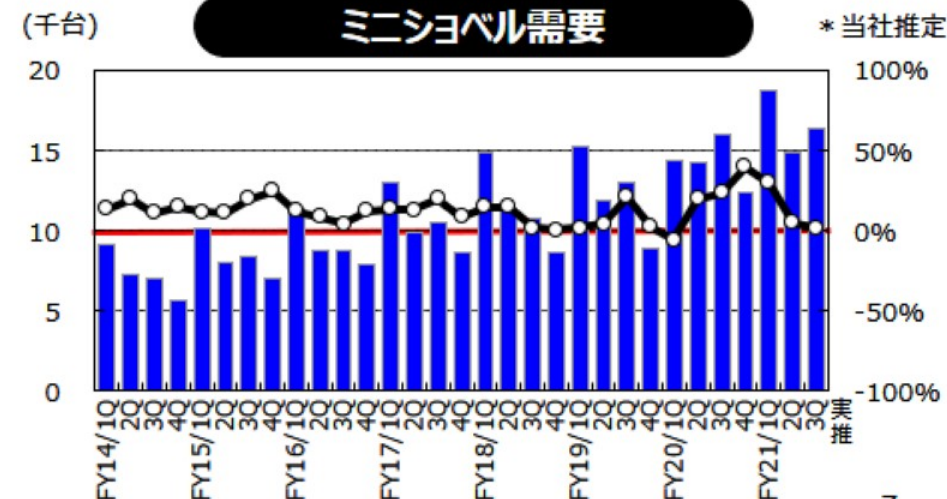
### 油圧ショベル需要



### 米国建設投資 (前年同期比)



### ミニショベル需要



- GDP成長率は+4.0%
- 油圧需要は減少（前年同期比 -62%、外資のみ）

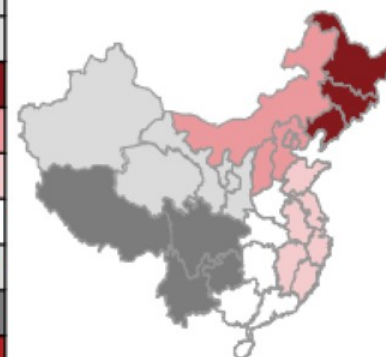
### GDP・固定資産投資



### 地域別油圧ショベル四半期別前年比

\* 外資のみ  
\* 当社推定

前年同期比 (%)	FY20	FY21		
	4Q	1Q	2Q	3Q
東北	+98	-31	-45	-40
華北	+76	-20	-40	-20
華東	+42	-42	-63	-65
華中南	+70	-42	-55	-69
西北	+68	-42	-62	-60
西南	+25	-35	-60	-69
中国全体	+53	-37	-57	-62

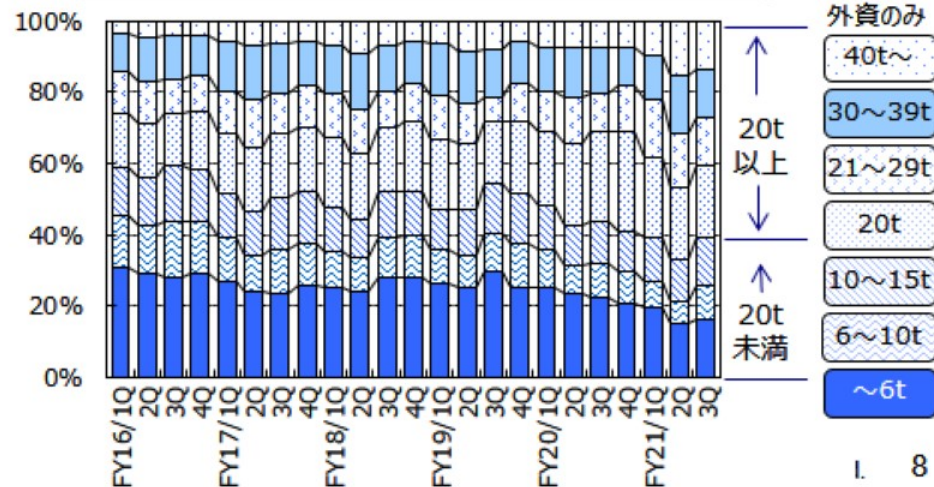


### 油圧ショベル需要



### ミニ・油圧ショベル クラス別需要構成比

\* 当社推定  
外資のみ

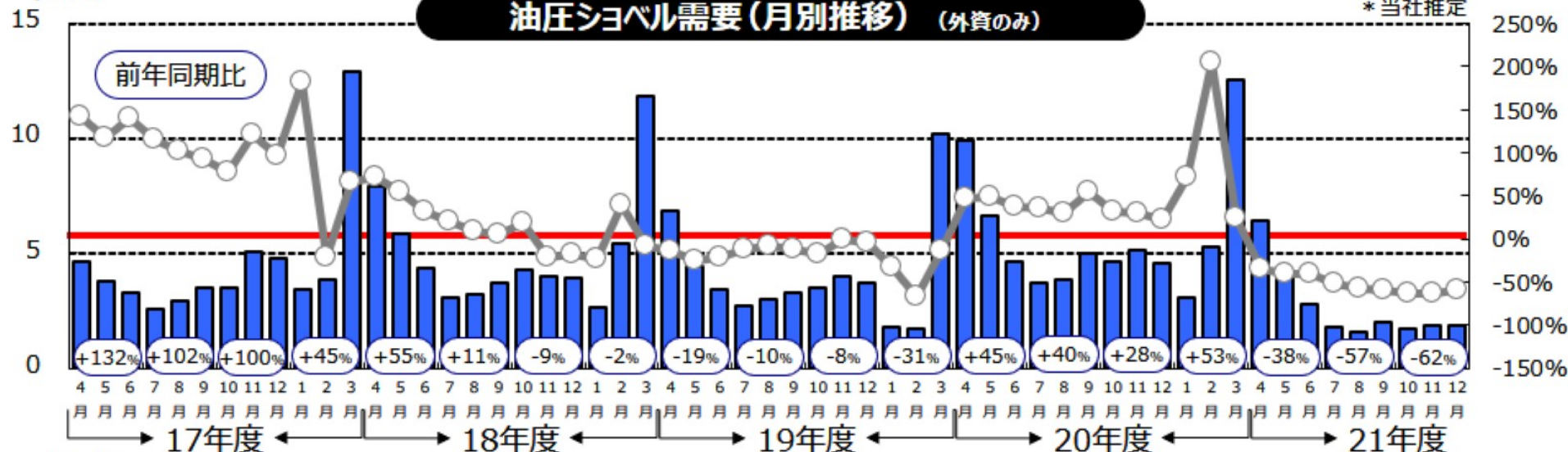




(千台)

油圧ショベル需要(月別推移) (外資のみ)

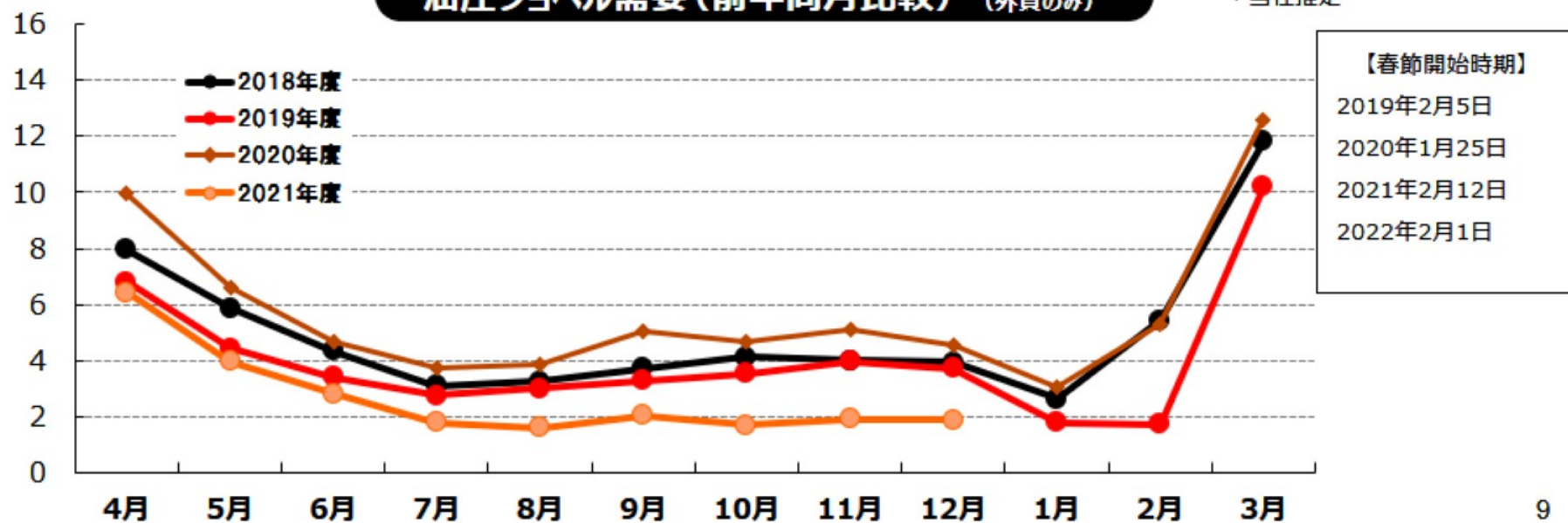
\* 当社推定



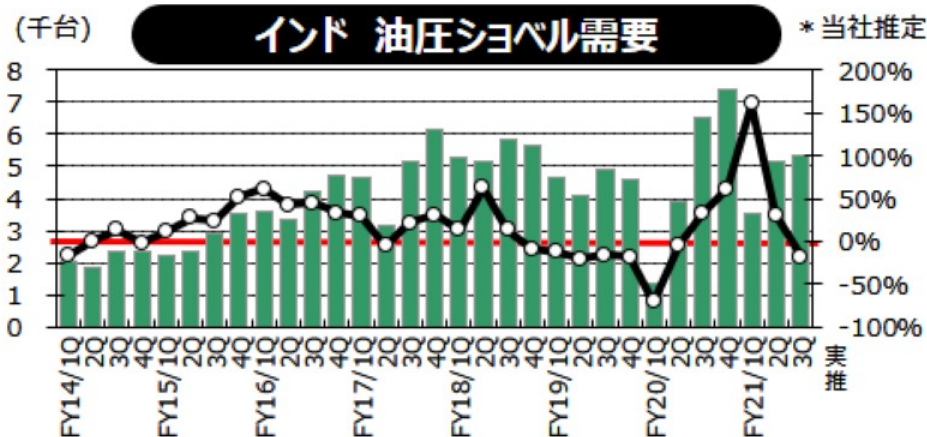
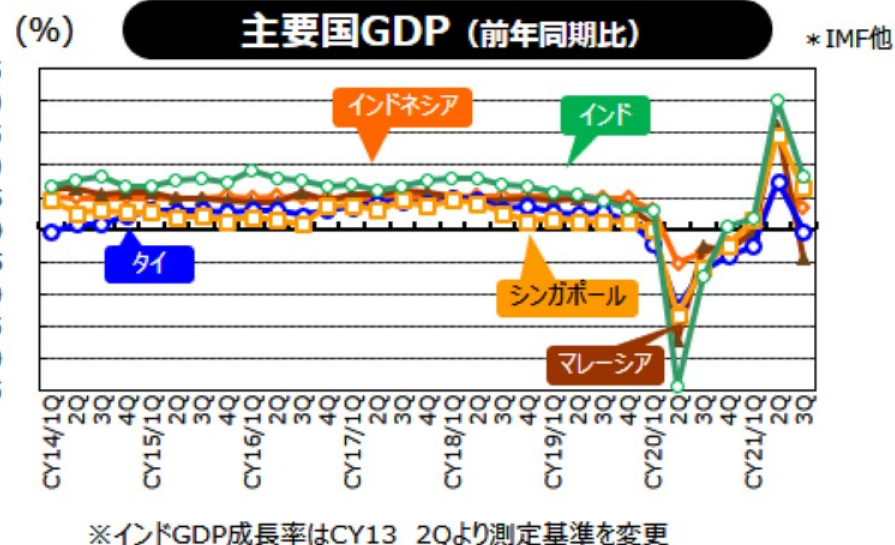
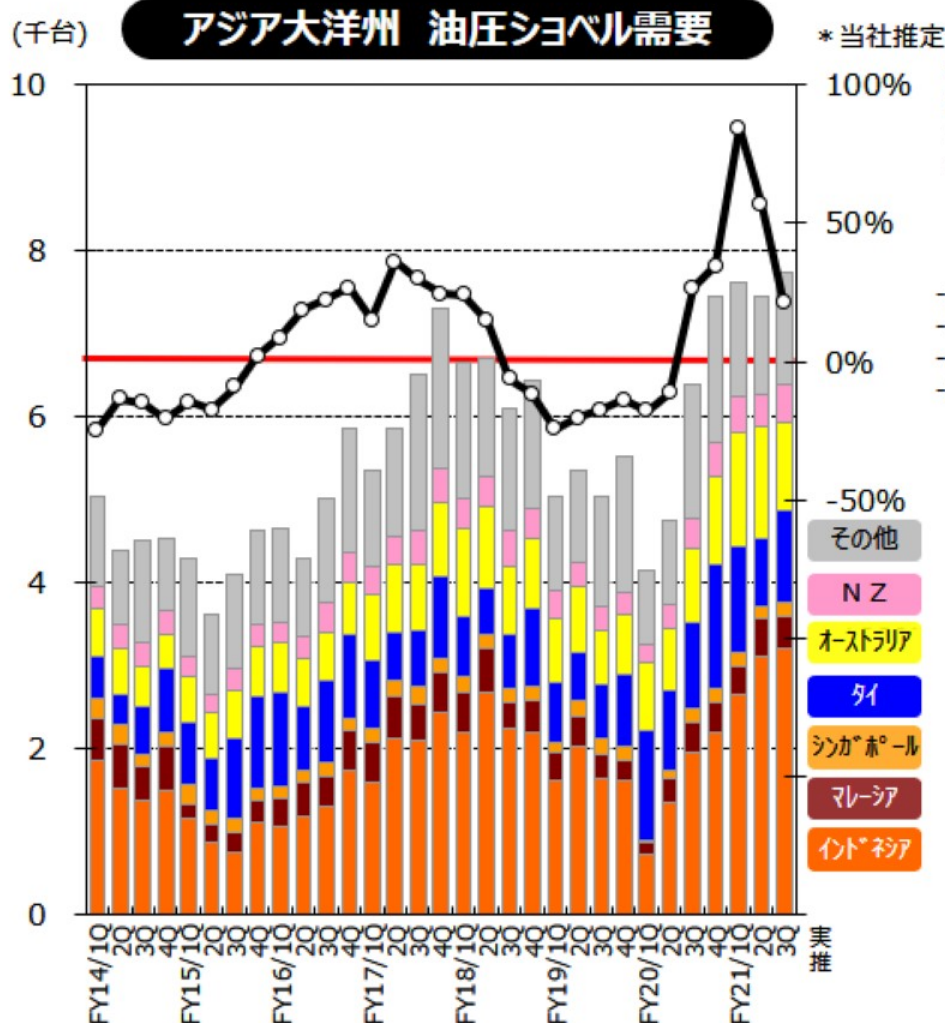
(千台)

油圧ショベル需要(前年同月比較) (外資のみ)

\* 当社推定



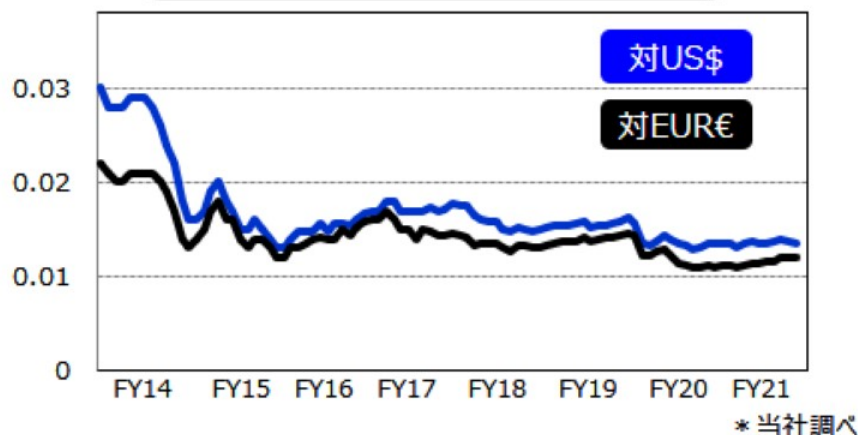
- アジア大洋州の油圧需要は全体では前年同期比 +21%
- インドの油圧需要は前年同期比 -18%



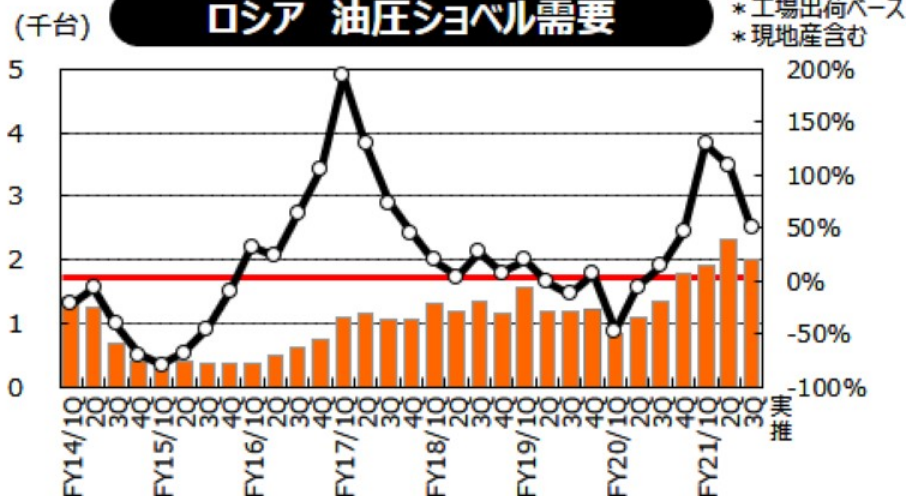


- ロシアの油圧需要は前年同期比 +50%
- 中東の油圧需要は前年同期比 +36%

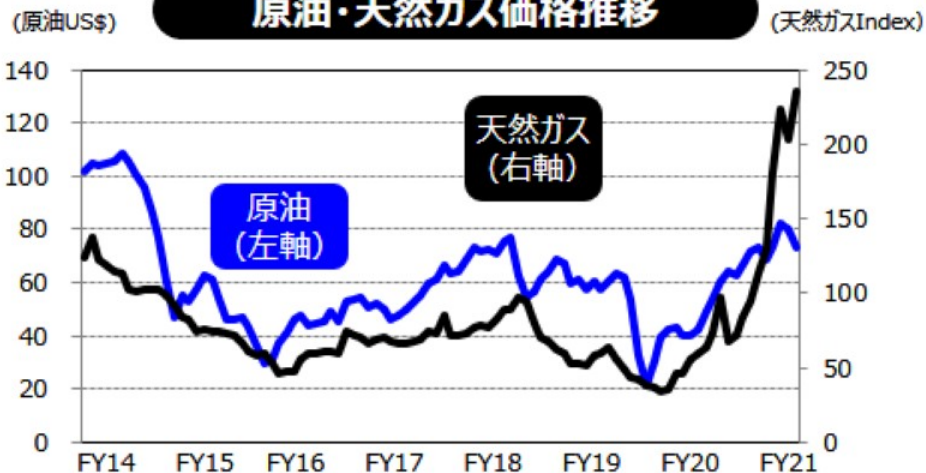
### ループル為替推移



### ロシア 油圧ショベル需要



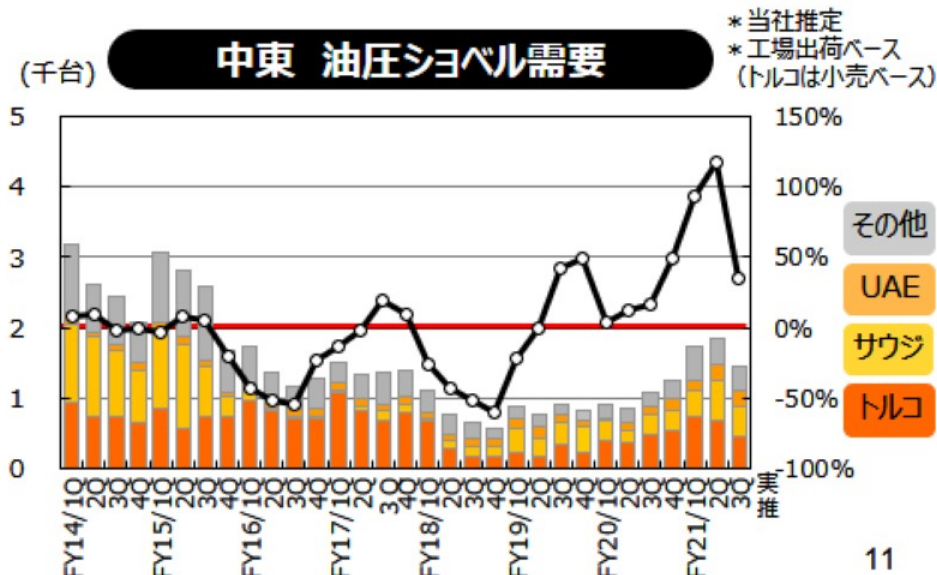
### 原油・天然ガス価格推移



\* 世界銀行ホームページより当社作成

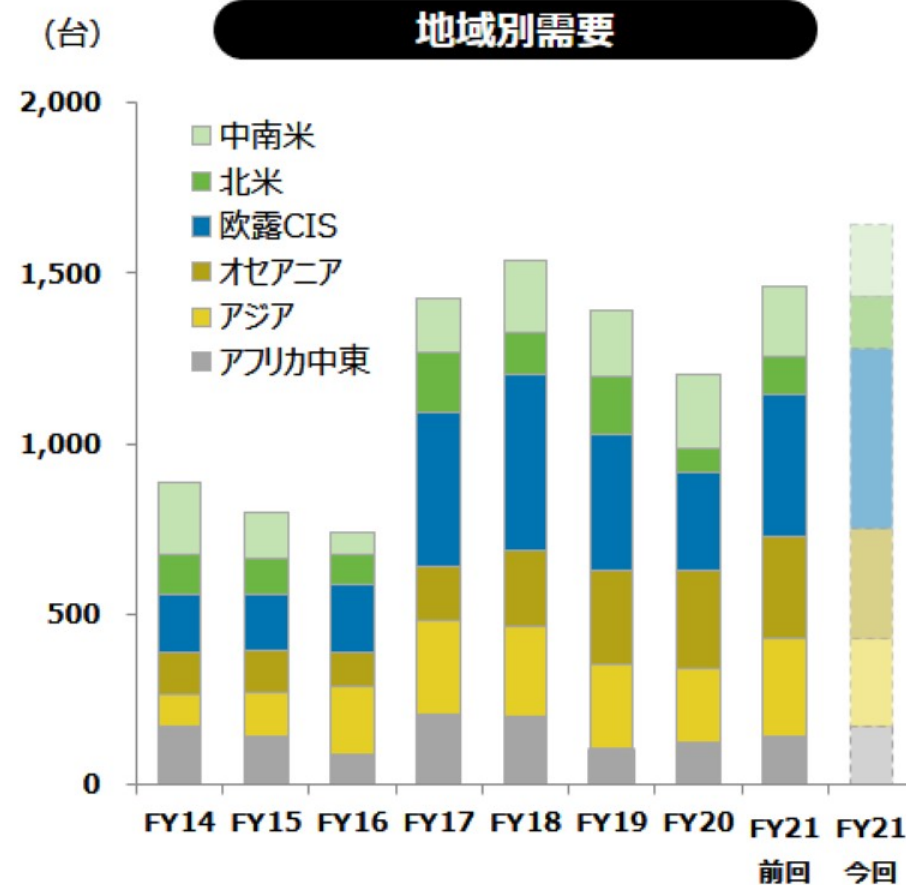
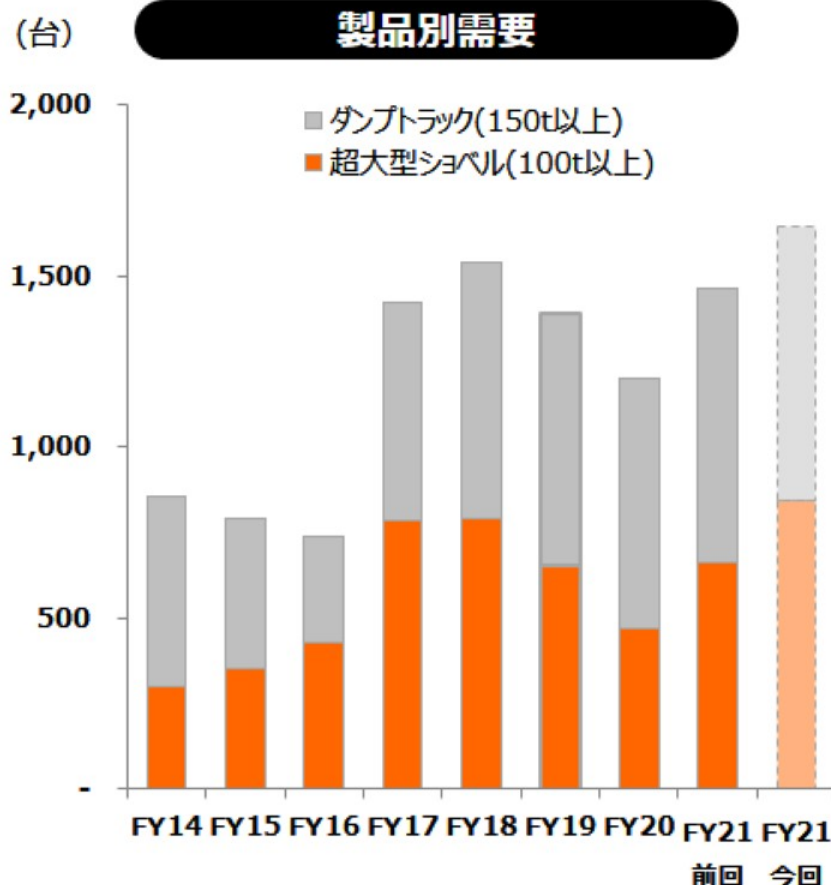
\* 天然ガスIndex : 2010年=100

### 中東 油圧ショベル需要



- 21年度マイニング需要は100tクラスショベル需要が大幅に増加、対前年+37%増加に見直し
- ハードロック向け、大手鉱山向けショベル、ダンプトラック需要は依然堅調

### 超大型油圧ショベル(100t以上)、ダンプトラック(150t以上)





## BB Ratio (超大型油圧ショベル 100t 以上)



## BB Ratio (ダンプトラック 150t 以上)



※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

# トピック(1) : 北中南米事業戦略 本格的な独自展開に向けて

HITACHI

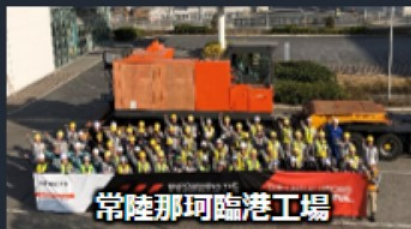
Reliable solutions

- ・日本の主要拠点から日立ブランドの最新製品を北米に続々輸出
- ・米州地域統括会社「日立建機アメリカ」の拡充・建屋・設備更新計画
- ・北中南米の既存部品倉庫を見直し、ネットワークを整備

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



## 日立ブランドの最新製品を続々輸出



北米の部品供給  
ネットワークの整備

日立建機アメリカ本社の  
増改築計画



HE PARTS  
INTERNATIONAL



HEPの既存のチリの拠点活用、  
南米の新車・部品サービスの  
供給体制を整備

Bradken 拠点  
H-E Parts 拠点



## ZAXIS-7シリーズを欧州に続き日本市場で今春発売

- ・最新の油圧システムで高い操作性と燃費性能を両立、約10%の燃費低減\*1
- ・各クラスにICT仕様機\*2をラインアップ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



ZX135USX-7 (ICT仕様)

12～13トンクラス



ZX200-7

20トンクラス



ZX330-7

30トンクラス

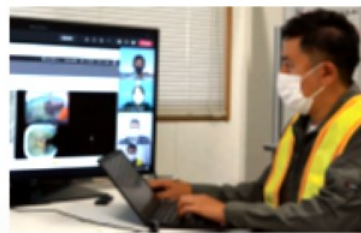
## 安全性と生産性の向上に貢献するオプションを拡充



### AERIAL ANGLE STEP IV

物体を検知して機体を減速・停止

### Solution Linkage Work Viewer Cloud

機械の車体前方・周囲映像を録画  
現場や事務所から進捗管理を支援事務所から機械位置と  
録画映像を確認可能

\*1: パワーモード (PWR) での従来機ZX-6シリーズとの比較

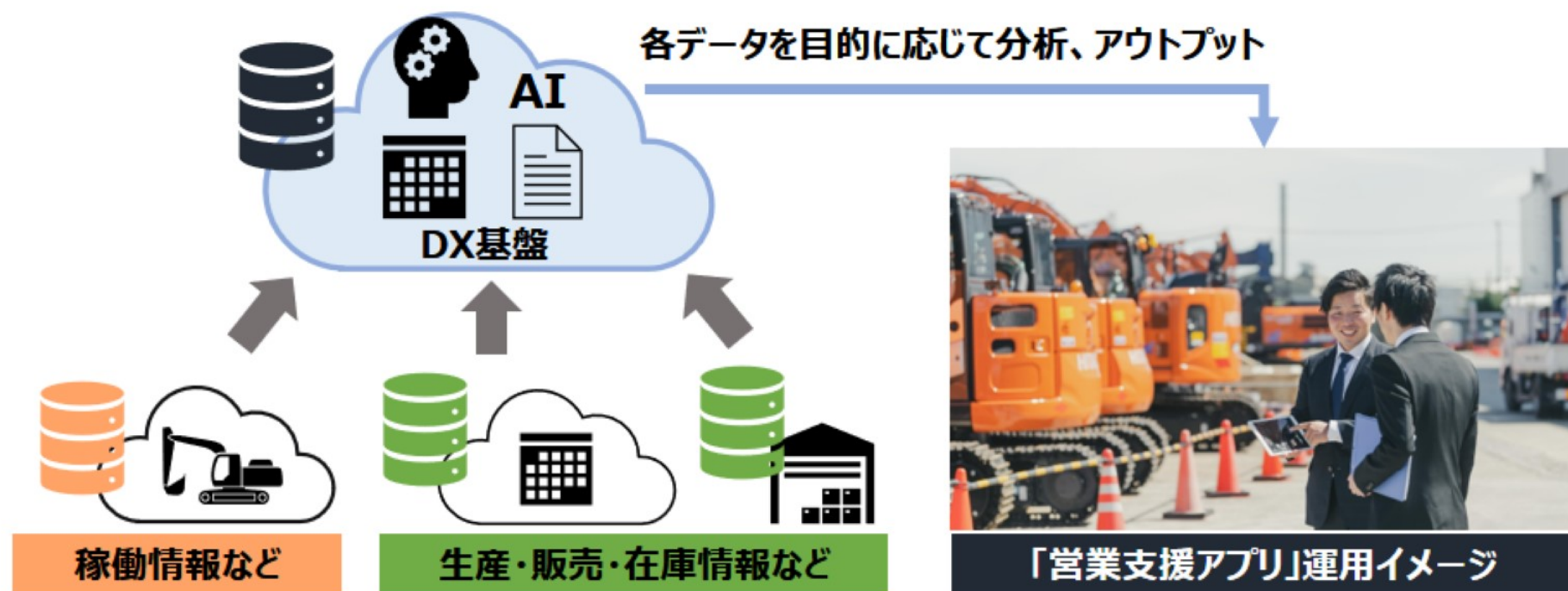
\*2: ICT油圧ショベル ZX135USX-7、ZX200X-7、ZX330X-7の3機種

## 機械の稼働情報や生産・販売・在庫情報などを「DX基盤」で一元管理

- ・機械学習やAIなどにより、各データを目的に応じて分析、アウトプット
- ・日立製作所と協創し、今後も継続してLumada事業に貢献

## DX基盤で「営業支援アプリ」を全国で運用開始、グローバル市場での運用も検討

- ・お客さまの機械の状態、取引履歴、製品や部品の在庫情報などをまとめて閲覧
- ・「直接営業・直接サービス」の知見を基に、AIが機械の運用方法を複数パターン提示
- ・お客さまはこれまで以上に最適な選択が可能に





## **2. 2022年3月期第3四半期 決算説明**

執行役 財務本部長兼CFO

塩嶋 慶一郎

当第3四半期は、COVID-19の影響はあるも、堅調な需要を取り込み、加えて為替円安影響もあり、売上収益は前年同期比29%増収、調整後営業利益は235%増益。

(単位：億円)

		21年度 第3Q累計	20年度 第3Q累計	前年同期比 増減率
売上収益		7,204	5,587	29%
調整後営業利益 *1		(8.5%) 613	(3.3%) 183	235%
営業利益		(8.6%) 617	(2.7%) 152	305%
税引前四半期利益		(9.2%) 663	(2.1%) 118	460%
親会社株主に帰属する 四半期利益		(6.4%) 465	(0.6%) 31	-
EBIT *2		(9.5%) 685	(2.6%) 144	374%
為替	アメリカドル	111.2	106.1	5.1
	ユーロ	130.7	122.8	7.9
	中国元	17.2	15.4	1.8
	オーストラリアドル	82.7	74.2	8.5

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

\*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

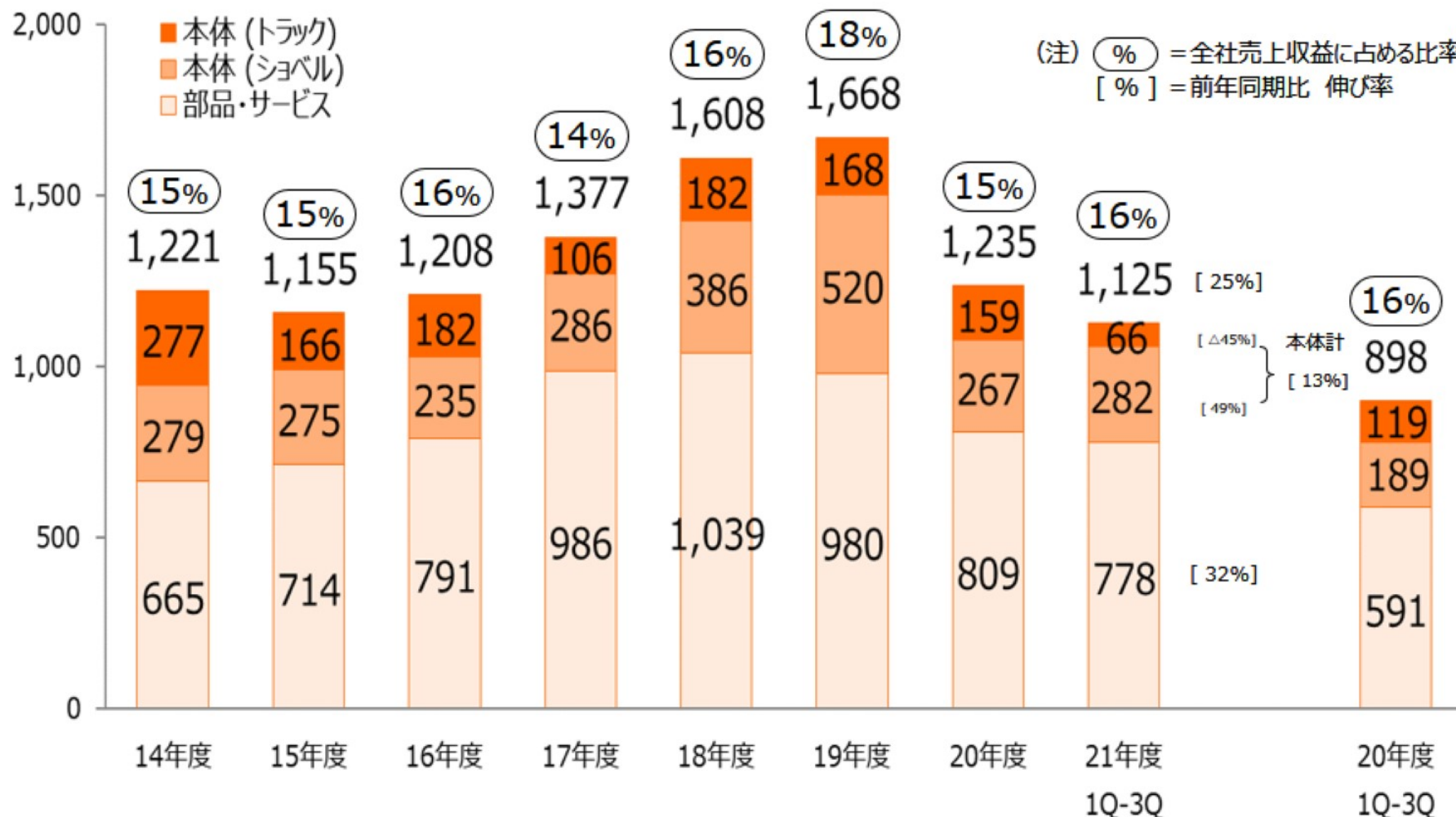
中国を除き各地域で前年同期比増収となり、連結合計では1,616億円の増収。

(単位：億円)

	21年度 第3Q累計		20年度 第3Q累計		前年同期比	
					金額	増減率
日本	1,548	21%	1,426	26%	121	8%
アジア	583	8%	346	6%	237	68%
インド	384	5%	323	6%	61	19%
オセアニア	1,225	17%	1,025	18%	200	19%
欧州	868	12%	546	10%	322	59%
北米	1,362	19%	714	13%	648	91%
中南米	157	2%	78	1%	79	100%
ロシアCIS	258	4%	173	3%	85	49%
中東	127	2%	100	2%	27	27%
アフリカ	303	4%	241	4%	62	26%
中国	390	5%	615	11%	△ 225	△ 37%
合計	7,204	100%	5,587	100%	1,616	29%
海外売上収益比率	79%		74%			

ショベルは堅調な需要を取り込み、部品・サービスでは物量増、加えて為替円安影響もあり、前年同期比25%増の1,125億円。

(単位：億円)





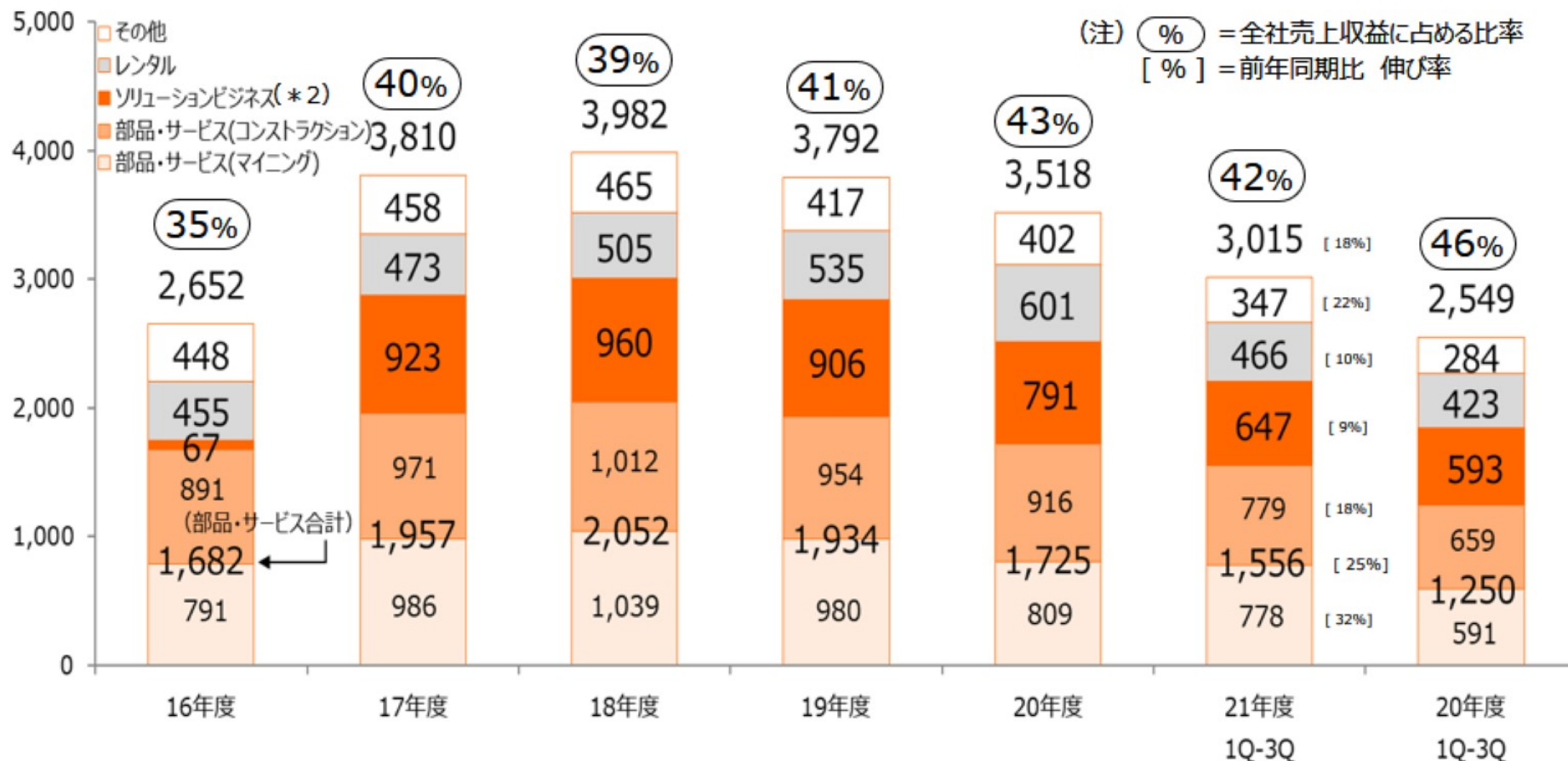
# バリューチェーン\*1 売上収益推移

HITACHI

Reliable solutions

バリューチェーンは全部門で物量増、加えて為替円安影響もあり、前年同期比18%増の3,015億円。

(単位：億円)

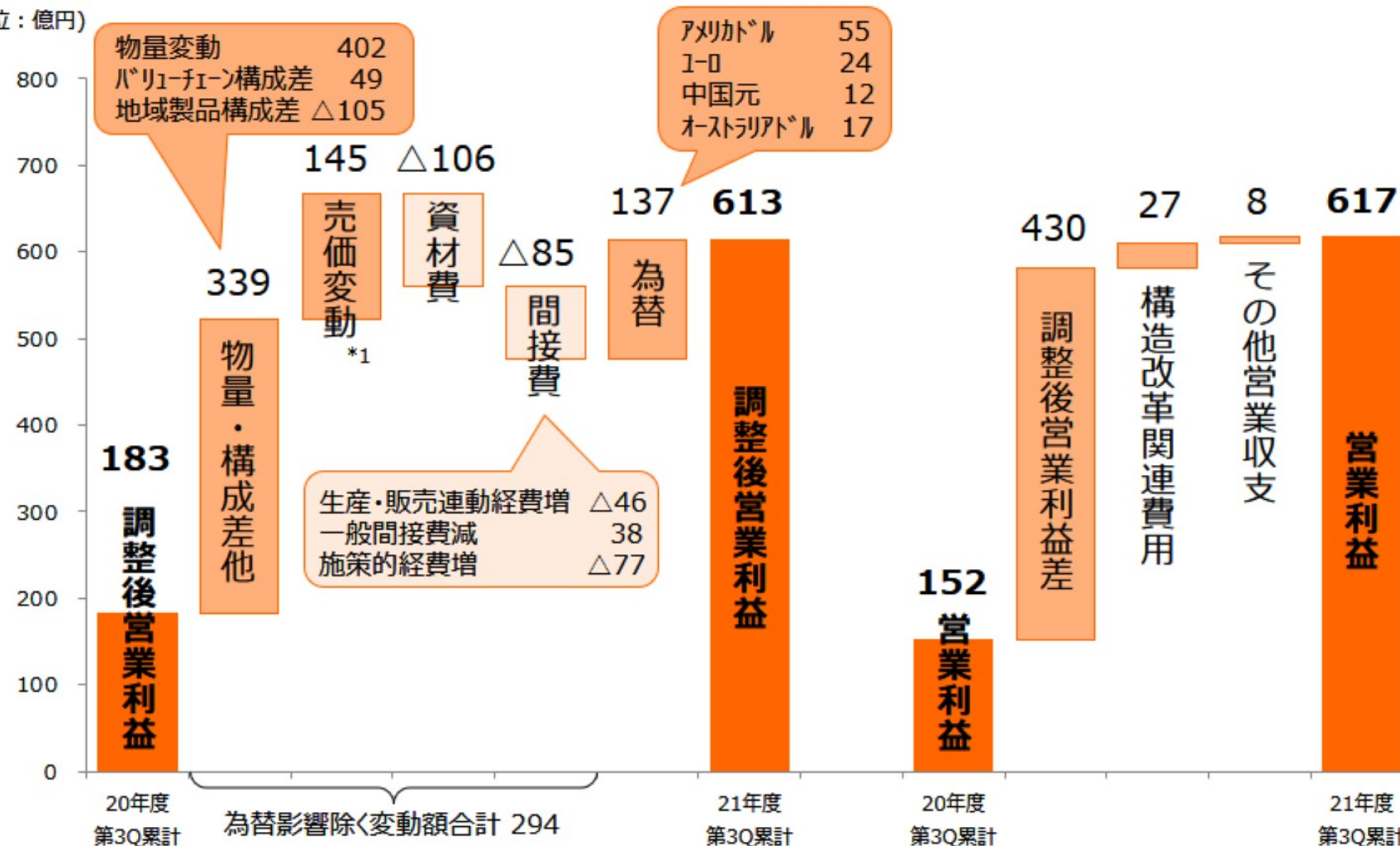


\*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

\*2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

調整後営業利益は、物量・構成差、通常売価アップに加え、ディア向け価格調整もあり、為替円安影響と合わせて、前年同期比430億円の増益。

(単位：億円)



\*1 売価変動:北中南米での価格調整111億円を含む

親会社株主に帰属する四半期利益は、465億円と前年同期比433億円の増。

(単位：億円)

	21年度 第3Q累計		20年度 第3Q累計		前年同期比	
					金額	増減率
売上収益		7,204		5,587	1,616	29%
売上原価	(72.7%)	5,238	(75.7%)	4,230	1,009	24%
販売費・管理費	(18.8%)	1,352	(21.0%)	1,174	178	15%
調整後営業利益 *1	(8.5%)	613	(3.3%)	183	430	235%
その他の収益及び費用		4		△31	35	-
営業利益	(8.6%)	617	(2.7%)	152	465	305%
金融収益及び費用		△15		△41	26	△63%
持分法投資損益		61		7	54	800%
税引前四半期利益	(9.2%)	663	(2.1%)	118	544	460%
法人所得税費用		164		55	109	200%
四半期利益	(6.9%)	499	(1.1%)	64	435	682%
親会社株主に帰属する 四半期利益	(6.4%)	465	(0.6%)	31	433	-

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。



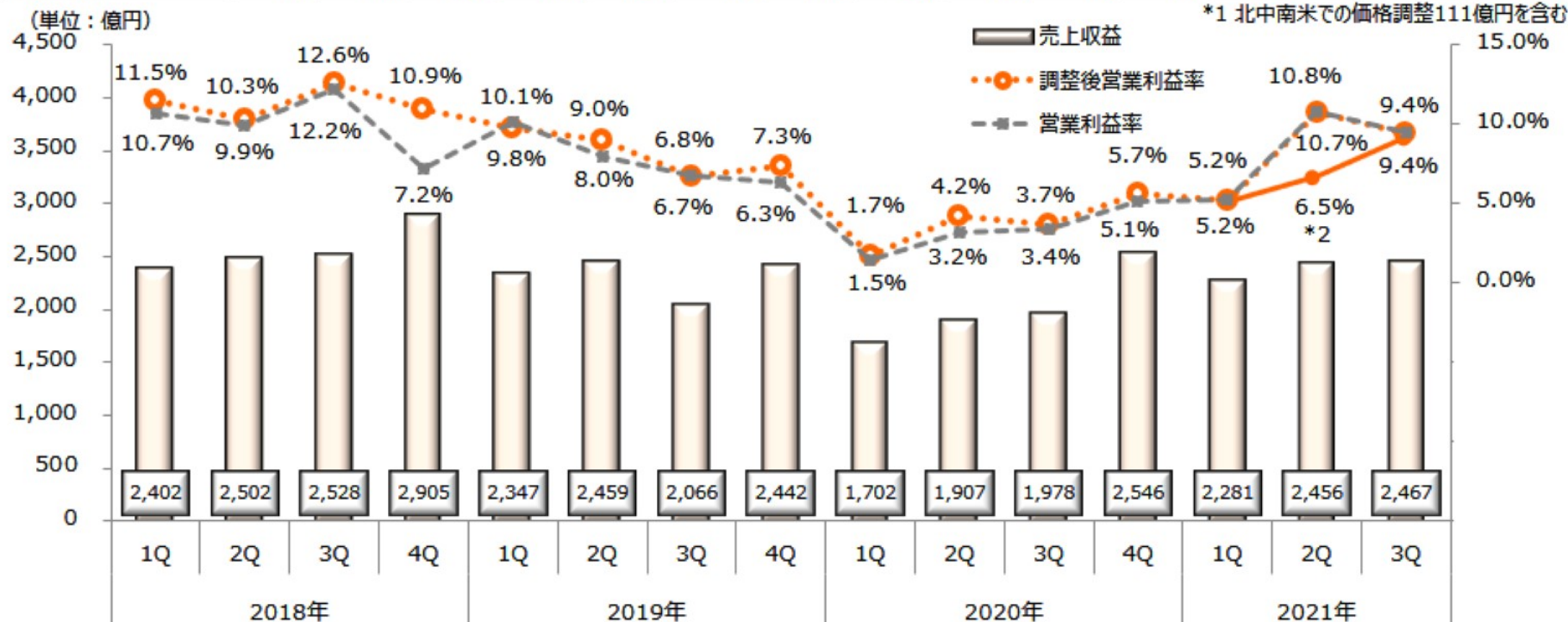
# 要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

HITACHI

Reliable solutions

(単位:億円)

	2018年				2019年				2020年				2021年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q +1	3Q
売上収益	2,402	2,502	2,528	2,905	2,347	2,459	2,066	2,442	1,702	1,907	1,978	2,546	2,281	2,456	2,467
調整後営業利益	276	258	318	317	229	221	138	179	29	80	74	144	118	263	232
営業利益	257	248	308	210	237	196	141	155	25	60	67	130	119	265	233



\*2 北中南米での価格調整111億円を除く

四半期別 為替レート	2018年				2019年				2020年				2021年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
アメリカドル	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9	107.4	108.8	108.9	107.6	106.2	104.5	105.9	109.5	110.1	113.7
ユーロ	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5	119.3	120.3	120.1	118.5	124.1	124.5	127.7	132.0	129.8	130.1
中国元	17.1	16.4	16.3	16.3	16.1	15.3	15.5	15.6	15.2	15.4	15.8	16.4	17.0	17.0	17.8
オーストラリアドル	82.6	81.5	81.1	78.5	76.9	73.6	74.3	71.8	70.7	75.9	76.3	81.8	84.3	80.9	82.9

当四半期末は、棚卸資産及び有形固定資産の増により総資産817億円の増加。

(単位：億円)

	(A) 21年3Q	(B) 20年度末	(C) 20年3Q	(A)-(B) 増減		(D) 21年3Q	(E) 20年度末	(F) 20年3Q	(D)-(E) 増減
現金及び現金同等物	816	803	684	13	営業債務及びその他債務合計	2,184	1,992	1,741	192
営業債権	2,023	2,112	1,723	△90	社債及び借入金	3,512	3,295	3,352	217
棚卸資産	3,454	2,978	3,089	477	負債の部合計	6,899	6,513	6,266	385
流動資産計	6,795	6,172	5,863	623	(親会社所有者帰属持分比率)	(42.8%)	(42.1%)	(41.6%)	(0.6%)
非流動資産合計	6,227	6,034	5,792	194	資本の部合計	6,124	5,692	5,390	432
資産の部合計	13,023	12,206	11,655	817	負債・資本の部合計	13,023	12,206	11,655	817
非流動を含めた営業債権	2,422	2,527	2,103	△105					
棚卸資産 内訳									
本体	988	773	851	215	有利子負債計	(27.0%) 3,512	(27.0%) 3,295	(28.8%) 3,352	(△0.0%) 217
部品	1,120	1,023	1,050	97	現金及び現金同等物	816	803	684	13
その他	1,346	1,182	1,187	164	ネット有利子	(20.7%)	(20.4%)	(22.9%)	(0.3%)
棚卸資産計	3,454	2,978	3,089	477	負債	2,696	2,492	2,668	205
手持日数 (分母は売上収益)									
営業債権 (非流動含む)	91	113	96	△22	ネットD/ELシオ	0.48	0.48	0.55	△ 0.00
棚卸資産	129	134	140	△5					
営業債務	50	49	44	1					
正味運転資金	166	194	188	△28					



営業キャッシュ・フローは386億円のポジティブ。

(単位：億円)

	21年度 第3Q累計		20年度 第3Q累計		前年同期比 増減額	
四半期利益		499		64		435
減価償却費	912	413	441	377	472	37
売掛金及び受取手形の増減		186		526		△ 341
棚卸資産の増減	△ 52	△ 427	338	32	△ 389	△ 458
買掛金及び支払手形の増減		189		△ 220		409
その他		△ 474		△ 211		△ 263
営業活動に関するキャッシュ・フロー		386		567		△ 181
営業キャッシュ・フロー・マージン率		5.4%		10.2%		△ 4.8%
投資活動に関するキャッシュ・フロー		△ 260		△ 233		△ 28
フリー・キャッシュ・フロー		126		335		△ 209
財務活動に関するキャッシュ・フロー		△ 138		△ 290		152



# 要約連結損益計算書(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結損益計算書は、前回予想から上方に修正。

(単位：億円)

注. < >内は21年10月公表値

	21年度 予想			20年度 実績	前年比	
					金額	増減率
売上収益	<9,200>	9,500		8,133	1,367	17%
調整後営業利益	<8.0%>	(8.8%)		(4.0%)	(4.8%)	157%
	<740>	840		327	513	
営業利益	<8.6%>	(9.3%)		(3.5%)	(5.8%)	212%
	<790>	880		282	598	
税引前当期利益	<8.7%>	(9.3%)		(3.1%)	(6.1%)	244%
	<800>	880		256	624	
親会社株主に帰属する当期利益	<5.0%>	(5.5%)		(1.3%)	(4.2%)	403%
	<460>	520		103	417	
EBIT	<829>	910		287	623	
通 貨	1Q-3Q 実績	4Q 予想	年度 予想	20年度 実績	前年比	
アメリカドル	111.2	110.0	110.9	106.0	4.8	
ユーロ	130.7	130.0	130.5	124.6	5.9	
中国元	17.2	17.5	17.3	15.7	1.6	
オーストラリアドル	82.7	80.0	82.0	76.0	5.9	
1株当たり配当金 *1	未定			20円	-	

為替感応度は  
参考資料1を  
ご参照ください

為替感応度は  
参考資料1を  
ご参照ください

\*1 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

# 要約地域別売上収益(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結売上収益は、対前回比で300億円、対前年比で1,367億円の増収を見込む。

(単位：億円)

	21年度 予想		20年度 実績		前年比	
					金額	増減率
日本	2,064	22%	2,033	25%	31	2%
アジア	779	8%	527	6%	251	48%
インド	547	6%	500	6%	47	9%
オセアニア	1,573	17%	1,399	17%	174	12%
欧州	1,123	12%	878	11%	244	28%
北米	1,709	18%	1,072	13%	637	59%
中南米	188	2%	109	1%	79	72%
ロシアCIS	386	4%	227	3%	159	70%
中東	210	2%	161	2%	49	31%
アフリカ	393	4%	336	4%	57	17%
中国	527	6%	891	11%	△363	△41%
合計	9,500	100%	8,133	100%	1,367	17%
海外売上収益比率	78%		75%			

# マイニング売上収益推移(予想)

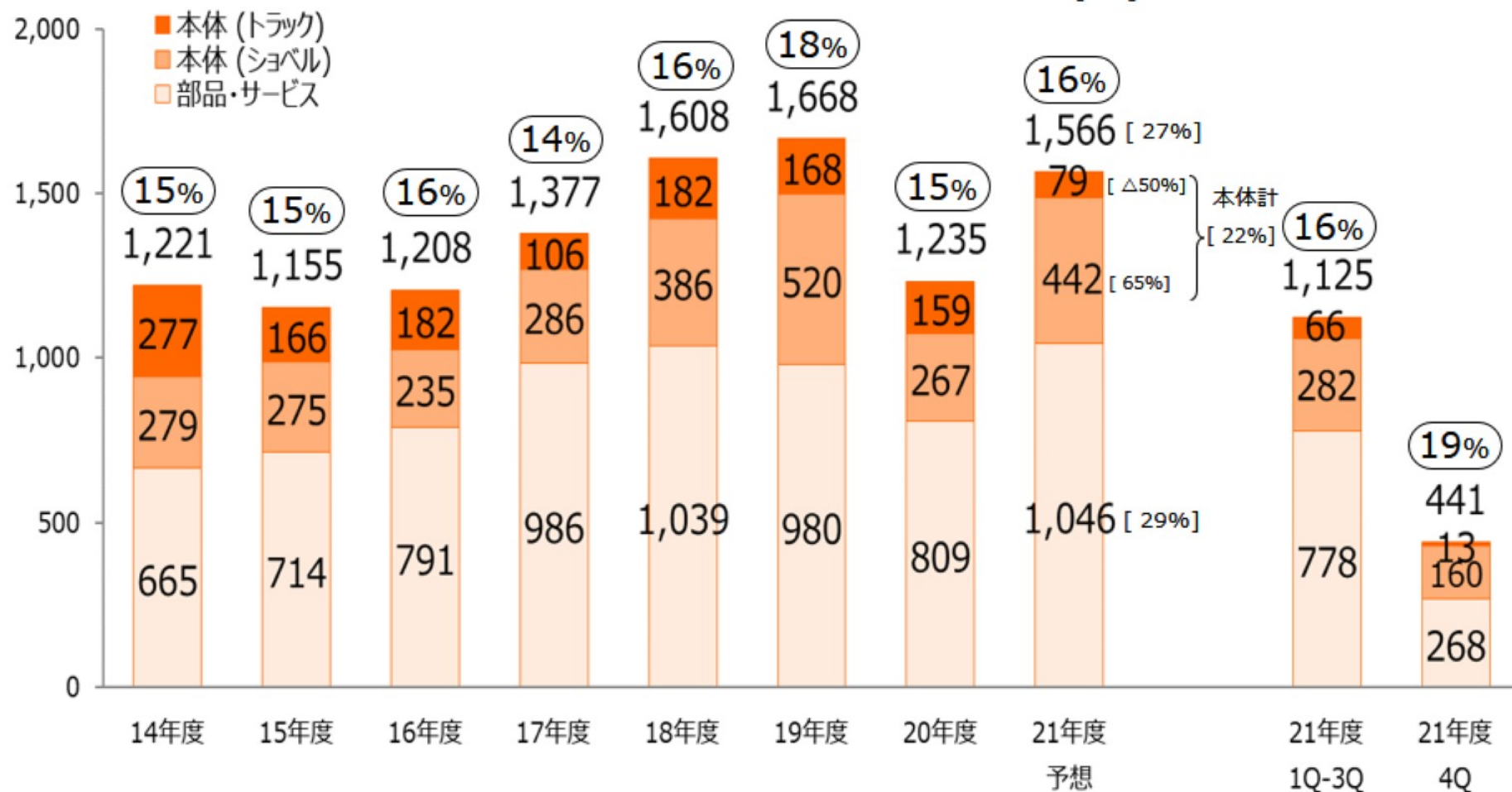
HITACHI

Reliable solutions

21年度マイニング売上収益は、対前回比で5%、対前年比で27%増収の1,566億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率  
[ ％ ] = 前年比 伸び率





# バリューチェーン\*1 売上収益推移(予想)

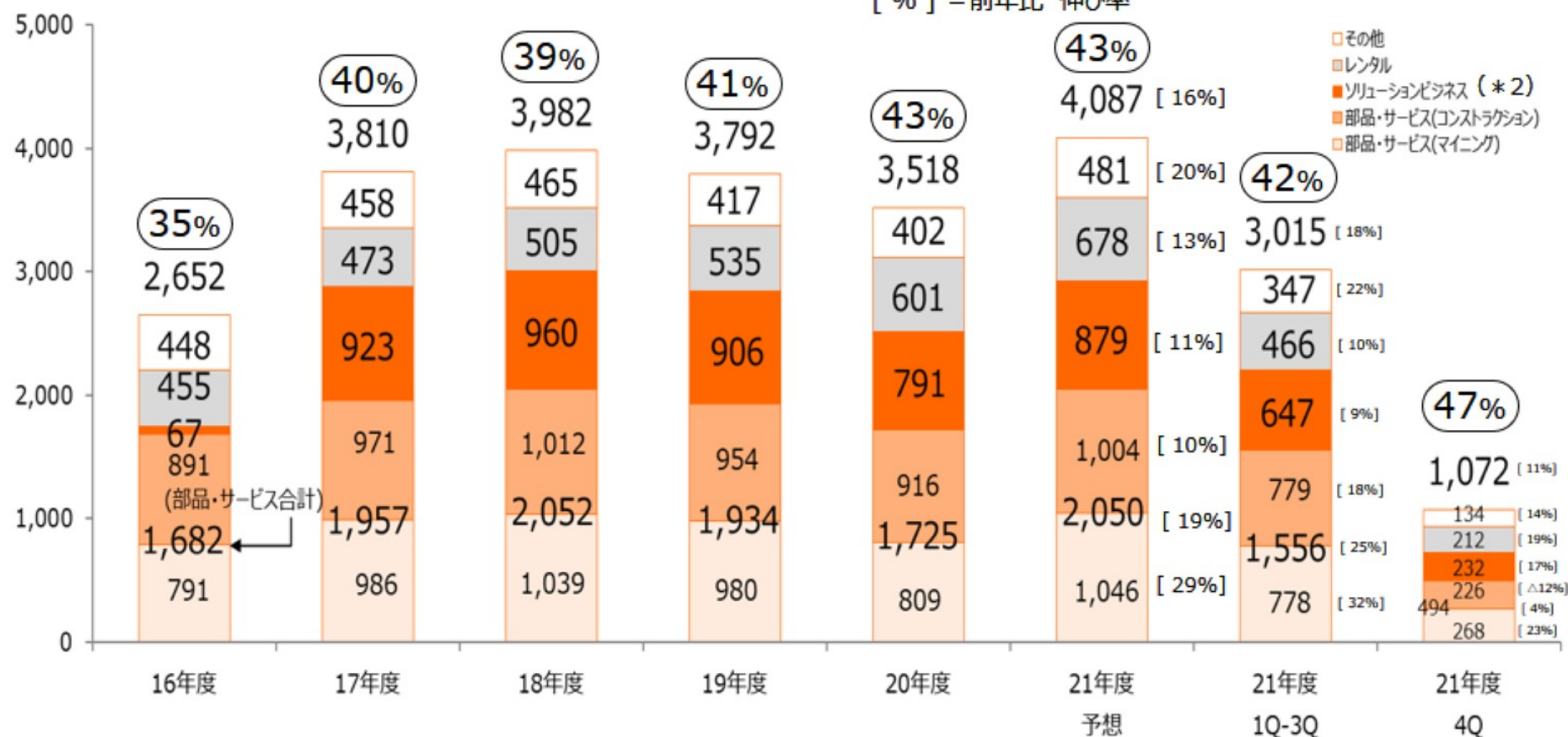
HITACHI

Reliable solutions

部品サービスは対前回比で5%、対前年比で16%増収の4,087億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率  
[ ％ ] = 前年比 伸び率



\*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

\*2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

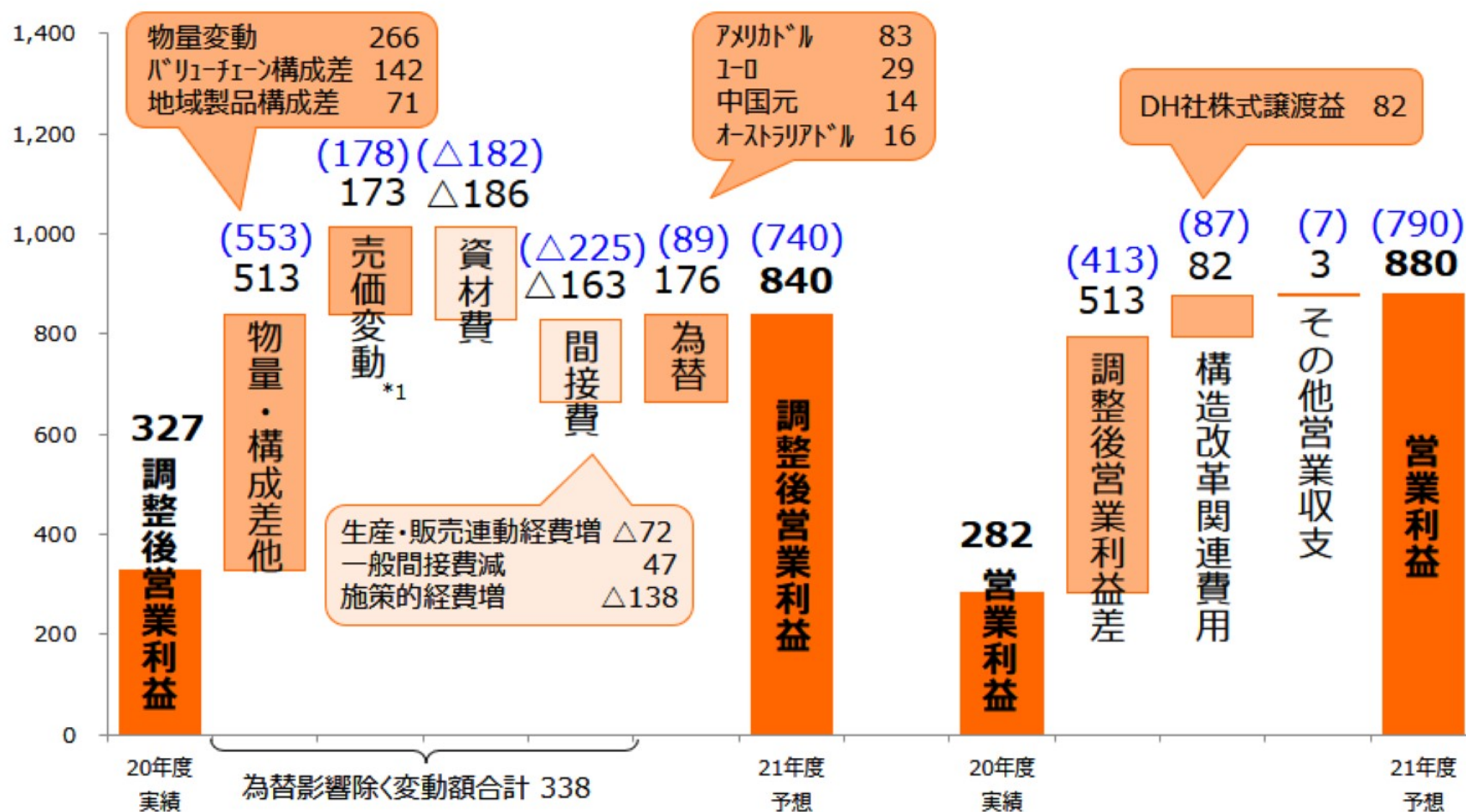
# 連結損益変動要因(予想)

HITACHI

Reliable solutions

調整後営業利益は、物量・構成差、通常売価アップに加え、ディア向け価格調整もあり、為替円安影響と合わせて、前年比513億円の増益。

(単位：億円) 注.( )内は21年10月公表値



\*1 売価変動:北中南米での価格調整111億円を含む

21年度4Q予想為替レートは、通貨毎に予想変動レンジ内で合理的に設定。

為替レート及び為替感応度

(単位：億円)

通貨	為替レート				感応度(4Q)		
	21年度			20年度 実績	基準	売上収益	調整後 営業利益
	1Q-3Q 実績	4Q 予想	年度 予想				
アメリカドル	111.2	110.0	110.9	106.0	1円円安になった場合	6	5
ユーロ	130.7	130.0	130.5	124.6	1円円安になった場合	2	2
中国元	17.2	17.5	17.3	15.7	0.1円円安になった場合	1	0
オーストラリアドル	82.7	80.0	82.0	76.0	1円円安になった場合	6	1



# 参考資料 2 : マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable solutions

(単位 : 億円)

		20年度実績			21年度見通し			差額		
		1-3Q累	4Q	年度	1-3Q累	4Q	年度	1-3Q累	4Q	年度
米州	ショベル	79	27	106	78	8	86	△ 1	△ 19	△ 20
	トラック	9	12	21	20	7	27	11	△ 5	6
	計	88	39	127	98	15	113	10	△ 24	△ 14
欧阿中東	ショベル	108	45	153	180	101	281	72	56	127
	トラック	96	26	122	126	46	172	30	19	49
	計	204	72	276	306	147	452	102	75	177
アジア・大洋州	ショベル	363	134	496	528	227	755	165	93	259
	トラック	227	81	308	179	47	226	△ 48	△ 34	△ 82
	計	590	215	805	707	274	981	117	59	176
中国	ショベル	4	4	7	5	2	6	1	△ 2	△ 1
	トラック	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	計	4	4	8	6	2	7	1	△ 2	△ 1
日本	ショベル	9	7	16	9	3	12	0	△ 3	△ 3
	トラック	3	1	4	0	0	0	△ 3	△ 1	△ 4
	計	12	8	20	9	3	13	△ 3	△ 4	△ 7
合計	ショベル	563	216	779	800	340	1,140	237	125	361
	トラック	335	121	456	326	100	426	△ 10	△ 20	△ 30
	計	898	337	1,235	1,125	441	1,566	227	104	331

下記ソリューションビジネスの調整後営業利益は、P P A (資産再評価)償却費が含まれております。  
21年度第3四半期実績には8億円、21年度予想には11億円がそれぞれ含まれております。

(単位：億円)

21年度 第3Q累計	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	6,557	672	△ 26	7,204
調整後営業利益	8.6% 565	7.2% 48	-	8.5% 613

(単位：億円)

21年度 予想	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	8,621	879	0	9,500
調整後営業利益	8.9% 767	8.3% 73	-	8.8% 840

\*1 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

日立建機グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。  
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



**【見通しに関する注記事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあり得ます。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

**【商標注記】**

「Lumada」は、株式会社日立製作所の登録商標です。「AERIAL ANGLE」「ConSite」「Solution Linkage」は、日立建機株式会社の登録商標です。

**END**

ブランド・コミュニケーション本部